

滝沢東小学校の研究

研究主題・副主題

主体的に思考・表現する心豊かな児童の育成

～国語科、算数科、外国語活動における「ことばの力をみがく活動」を位置づけた授業改善を通して～

目指す子どもの姿

児童一人一人が自分の考えや思いをもって学習や課題に主体的に取り組み、
相手や目的を意識して伝え合う中で、自分の考えを適切な言葉で表現する子ども



ことばの力をみがく



見通し

- 単元全体の流れとゴール
- 課題把握の工夫
- 単位時間の流れとゴール

主体的・協働的な 学習展開

- 思考の場 **主体性**
 - ・自分の考えや思いをもつ
 - ↓
 - ・自分のことばで表す
- 伝え合いの場 **協働性**
 - ・学びを共有する
 - ↓
 - ・学びを深める

振り返り

学びを実感する振り返り

- 目的
 - ・学習内容の振り返り
 - ・学習の成果の実感
 - ・自己の変容
 - ・学び方の良さ
 - ・次時への意欲
- 方法
 - ・自己評価
 - ・他者評価
 - ・教師による評価
 - ・評価問題

- ◇わかったこと
(わからなかったこと)
- ◇できるようになったこと
(できなかったこと)
- ◇友達から学んだこと
- ◇次にやってみたいこと

研究を支える 取り組み

- ①学びの基盤 → 系統性のある学習規律
- ②ことばの力をみがく技術の向上 → ステップアップタイム、漢字・計算大会
- ③個に応じた指導 → 学級づくり(QU調査)、学力調査の分析
- ④教師の指導力の向上 → 授業力向上週間の実施(年2回)
- ⑤自学自習の習慣化 → 「家庭学習のしかた」、家庭学習の交流会

	見 通 し	展 開	振 り 返 り
国 語	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のゴールを明示する。 ・児童の思考にあった課題を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項に基づく適切な言語活動を選択する。 ・学習方法が分かり、自分の考えを表現できる手立てを工夫する。 ・個の思考を交流する「目的」「内容」「方法」を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題との整合性を重視した「まとめ」と「振り返り」にする。 ・振り返らせるための構造的な板書にする。
算 数	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項をもとに学習課題を設定する。 ・一単位時間のゴールとプロセスを課題をもとに提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを式、図、グラフや言葉などを使って数学的に説明できる手立てを工夫する。 ・数学的に表現されたものからその意味を解釈できる手立てを工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい考えや新しい考えを主体的に考えるきっかけづくりとして位置付ける。 ①板書 ②評価問題 ③学習感想
外 国 語	<ul style="list-style-type: none"> ・一単位時間のゴールを具体的に設定し、授業の最初に児童に提示する。 ・実際に活用する場面を意識した単元のゴールを設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな活動を通して表現に慣れ親しませる工夫をする。 ・コミュニケーションを積極的に図ろうとする態度の育成を図る。(温かい人間関係づくり) 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに応じて、気づいたことやできるようになったことを振り返ることができるようにする。